

令和5年10月30日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 濱谷 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2022年度病院の経営状況（速報値）について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2022年度の病院の経営状況（速報値）をとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r5/>

概要

- 医業利益率の推移
 - ✓ 一般病院は Δ 1.2%、療養型病院は1.9%と前年度から大幅に低下し、過去最低の水準となった。精神科病院は0.5%と前年度比でわずかに低下した
- 前年度（2021年度）からの変化
 - ✓ いずれの病院類型においても、入院単価・外来単価は上昇したが、病床利用率は低下した
 - ✓ 物価高騰の影響等により、医療材料費率と経費率が大幅に上昇した
- 2か年連続コロナ患者の受入を実施した同一病院の経営状況
 - ✓ 医業利益率は Δ 1.4%のマイナス値であった。また、コロナ関連補助金を除外した実質的な医業利益率は Δ 4.7%、経常赤字病院割合は61.3%となった

※ 今回公表する経営状況は速報値のため、今後公表する経営分析参考指標とは異なる点に留意されたい

以上